

## 令和4（2022）年度 居宅介護支援事業者部会事業計画（案）

### ① 定例会（全体研修会）の開催（年2回 予定）

感染症の状況及び年度前半は大会場の確保が困難なこと、動画配信研修の形態が好評であったことから、今年度も大規模な研修会が行えない場合は、協議会ホームページを活用し、動画研修を行います。

（目的）会員事業所に従事する管理者及び介護支援専門員のスキルアップ

（内容）介護支援専門員に必要な情報の提供・研修会や事例検討・意見交換等

（計画）時期未定 講演「ケアマネジメントに関すること（案）」

時期未定 講演「居宅介護支援の運営に関すること（案）」

### ② 地区（ブロック）研修会の開催（年1～2回予定）

八尾市の圏域ごとに、小規模に連携強化を意識して開催します。

（目的）会員事業所に従事する管理者及び介護支援専門員のスキルアップと連携強化

（内容）介護支援専門員に必要な情報交換・意見交換・事例検討や研修会

（計画）時期未定 事例検討会

### ③ 新人研修会の開催

（目的）会員事業所に従事する新人介護支援専門員のスキルアップ

（内容）ケアマネジメントの基本研修等

（計画）時期未定 講演「ケアマネジメントの基本（案）」講演

### ④ 地域包括ケアシステムの深化をめざした連携強化

様々な団体等と意見交換・交流が出来る機会を確保し、連携強化を図り、八尾市の地域力向上（介護支援専門員の質の向上）を目的とする。

（内容）・地域包括支援センター、施設サービス事業者部会及び居宅サービス事業者部会、地域密着サービス等の事業所や地域の他職種、各種団体・機関、保険者及び行政機関等との合同研修会の企画や研修会の案内等

- ・制度・施策に関する事業や研修活動及び調査研究活動等への参加・協力
- ・円滑な介護保険制度の遂行に向け、保険者及び行政機関等との協力
- ・活動結果を元にサービスの提供及び制度・施策に反映できるような提言や助言等を行政機関等に行う
- ・必要に応じて行政機関、各機関、団体等の協力を得てツール等を作成

# 令和4（2022）年度 居宅サービス事業者部会事業計画（案）

## 各部会（グループ）単位における活動計画

### ○訪問介護グループ

基本的には、研修は集合研修で行う。（コロナウイルス感染状況に合わせて、延期や中止にする） オンライン研修が実施できるように、環境整備をしていく。

#### ①グループ全体の研修会 年2回（10月・2月）

（内容）・4月に研修内容に関するアンケートを実施、集計結果を参考にサービス提供に関する知識・技術の質の向上に向けて、興味、関心が持てる研修会の開催  
・情報交換会（情報交換と交流）

#### ②他の部会との連携で研修

### ○訪問看護グループ

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、訪問看護ステーションの研修のみを継続して行い、他との交流会は計画していなかったが、今年度はオンラインを活用しながらの研修や交流会を検討していく予定。

#### ①訪問看護グループ研修会

今後予測される災害対策について、「コロナ禍の災害時の避難所対策」として、出来れば八尾市危機管理室の方などから、八尾市独自対応策について講義いただき、有事の際の訪問看護ステーションの役割を考察する。

#### ②他の部会との合同勉強会・交流会

継続学習項目として「感染について」認定看護師に依頼する予定。

#### ③行政との意見交換会

既にモデル事業で開始されているため、「生活支援事業について」障害福祉課との意見交換を行い、今後の事業展開について検討していく。

※いずれも方法はオンラインもしくはハイブリッド研修予定。

時期は市役所及び講師の都合により未定。

### ○通所グループ

#### ①施設見学会

コロナウイルス感染状況を鑑み、現地見学会及びリモート見学会を両面で検討。事業所間の情報交換と交流を図る。

#### ②オンライン研修会

事業所の意見を聞き取り、ニーズの高い内容を議題として研修会を実施する。

#### ③その他

通所グループ活性化のため、幹事の業務形態（通所介護、通所リハ等）のメンバー構成を検討していく。

### ○福祉用具・住宅改修グループ

#### ①グループ研修会

- ・定例研修会において、サービス提供等における知識や技術向上を目的とした研修会の開催
- ・福祉用具、住宅改修の展示相談会の継続

#### ②他の部会や他のグループ等との合同勉強会・交流会・情報交換等

- ・互いのグループのサービス向上のための実践的な研修会、勉強会の開催
- ・適切なサービス提供に向けた交流会や情報交換会、また意見交換会の開催

#### ③行政との意見交換

- ・実務面での問題点や制度の変更等に伴う福祉用具、住宅改修の利用及び現状に関する意見交換及び改善案の検討と提言
- ・適正化を目的とした実地指導における研修会、勉強会の継続

# 令和4（2022）年度 施設サービス事業者部会事業計画（案）

## ① 部会全体会

定期的に部会全体会を開催し、部会運営方針や活動内容を定期的に見直しするとともに、以下の事項について検討する。

- (1) 各課題の検討
- (2) 連絡調整

## ② 研修事業

計画している全ての研修は、職種を限定せず多職種で実施する。

また、研修は受動的なものではなく、ディスカッションを中心に構成していく予定。

- (1) リスクに対する研修
  - ・コンプライアンス（法令遵守）及び身体拘束防止研修
  - ・BCPに関する研修
- (2) サービス向上に対する研修
  - ・管理者向け研修  
マネジメント・エンゲージメント向上やハラスメント研修等をテーマにする予定
  - ・認知症研修
- (3) 介護技術に対する研修
  - ・褥瘡予防対策

## ③ 交流会事業

施設間交流の機会が少ない中、交流会を企画することによりお互いの理解を深める機会をつくる。

- (1) 職種別交流会（介護士・看護師・栄養士等）
- (2) テーマ別交流会（看取りについて等）
- (3) 他の部会との交流（居宅介護支援事業者部会及び居宅サービス部会）
- (4) 事業所ごとの研究発表会

## ④ グループホーム分科会活動

グループホームに特質した活動内容等を検討するとともに、課題整理や各種研修会の企画等、以下の事項について検討する。

- (1) グループホームにおける課題の検討
- (2) 連絡調整
- (3) 研修事業
- (4) 交流会事業